

# 視察に行ってきました



報告会の様子

笠岡市議会では今年度3つの委員会が行政視察に行きました。また、これらの視察で得た経験・知識を共有するため、6月定例会中に視察の報告会を行いました。

**A.**

先進的な取り組みを行っている自治体や施設に出向き、実際の施設の様子や取り組みに関する調査をすることで政策提言に活かす取り組みのことだよ。

**Q.**

行政視察って何？



※詳しい視察の報告については笠岡市議会のHPをご覧ください。

## 環境福祉委員会

4月20日～22日

処分場選定には合意形成が最重要

【静岡県富士市】

最終処分場等の施設建設は地域の方の反対も多く、住民の方々への説明会や先進地視察等により理解を得た上で建設が行なわれていました。建設後も、地域住民等で構成される安全確認委員会が運営等をチェックできるようになっています。

【所感】住民の方々との合意形成では、様々な工夫と積極的な取り組みを行なうべきと感じました。

処分場選定に対する十分な情報提供を

【山梨県】

山梨県では、処分場の選定に公募方式が採用され、処分場決定までの7か月間で13回の住民説明会と2回の先進地視察を行なっています。新聞折込等での広報も行い、情報公開への配慮がされていました。

【所感】住民の方々の不安や疑問を払拭するには、十分な情報提供が不可欠で、情報公開を積極的に行うことの重要性を再認識しました。

## 参加議員

仁科文秀 三谷渡 馬越裕正  
大月隆司 奥野泰久 藏本隆文

子育て世代のニーズに合わせる

【山梨県北杜市】

特徴的な子育て支援住宅を視察しました。これは若い世代への環境整備で、民間会社のアドバイスを受けて、子育て世代に特化した仕様・設備の住宅を設置するものです。

また、若い世代の定住へ向けて、農業生産法人を積極的に立ち上げ、雇用確保も図られています。

【所感】若い子育て世代に特化した人口減少・少子化対策でした。特定世代のニーズの把握と、それに寄り添った取り組みも必要だと感じました。



建設中の子育て支援住宅